

四月十六日 曇

位置 亭子圩

一、本林川參謀ハ堀内高級主計、小山田少尉ト共ニ  
 和集團後方關係者及部隊長會同ニ出席ノ  
 タメヨク言出發和集團司令部ニ趣キ混成旅團ノ  
 後方狀況ヲ報告後諸事項連絡ノ上ニ、〇〇〇歸還  
 セリ、（後方關係報告書別冊ノ如ク）

陸軍



四月十六日

部隊長會同後方關係報告書

2167

昭和十五年四月十日現在

後方狀況報告

近衛混成旅團

2168

狀況報告目次

一 人馬一覽表

二 人員一覽表

三 馬匹一覽表

四 兵器一覽表

五 彈藥保有量一覽表

六 被服保有量一覽表及其他軍需品

七 糧秣保有量一覽表

八 輸送機關能力

七、宿管設備、狀況

八、患畜病馬一覽表

九、現地自活、現況及將來、企圖

一〇、兩期夏季對策、實行及將來、企圖

二、希望事項

三、相互連絡事項

2170

一人馬一覽表  
人員  
馬匹

2171

考 備	計	近 四 野 病	近 一 野 病	近 混 輜	近 混 衛	近 混 通	近 工 中	近 砲 大	近 騎 中	近 步 二	近 步 一	司 令 部	部 分		區	
													員 定	員 現		
二過不足ノ欄中過ハ墨書不足ハ朱書ス 通ハ 通譯 ( ) 印内数字ハ院患者 ( ) 印内数字ハ准士官 示ス	441				27	17	17	47	17	171	171	17	員 定	將	近衛混成旅團人員覽表 (部隷下)	
	348	19	18	23	25	5	6	26	7	101	101	17	員 現	校		
	(371) 867 (16) 269	27	27 (2)	17	27 (3)	22	6	6	21	6	207 (5)	(371) 277 (5) 68	14	(足不)過		
	257	27	27	17	/	/	/	/	/	/	37	137	27	員 定		下士官
	通5											通5	119	員 現		兵
	10977	232	226	839	714	169	289	704	213	3736	3736	119	(2)	(足不)過		合
	(840) 通5 10443	(7)	(12)	(41)	(46)	(5)	(26)	(33)	(5)	(269)	(194)	通5	109	員 定		計
	106			27	6	2				1		114	通5	員 現		
	通5													員 定		
	11369	251	244	862	741	175	296	734	221	3854	3854	137	(3)	員 現		
(659) 通5 10778	(7)	(14)	(41)	(49)	(5)	(26)	(33)	(5)	(274)	(202)	通5	126	(足不)過			
68			27	6	2				/		100					



考 備	計	部 隊 分			將 校		下 士		官 兵		合 計	
		第 二 師 團 第 三 建 築 輸 送 隊 一 班	第 二 師 團 第 三 建 築 輸 送 隊 一 班	第 二 師 團 第 三 建 築 輸 送 隊 一 班	定 員	現 員	定 員	現 員	定 員	現 員	定 員	現 員
一 定 員 ナク 現 員 ノ ミ 記 載 ス (一) 印 内 數 字 ハ 入 院 患 者 數 ヲ 示 ス	2		2									
	(3)	(1)	(2)									
	98	23	75									
	(3)	(1)	(2)									
	100	23	77									

近衛混成旅團人員一覽見表(配属部隊)

一 壹月二十五日別紙第一ノ補充員ヲ受領ス  
 二 賓陽作戦終了後別紙第二ノ請求セルモ未夕補  
 三 近混旅副貳第八號ニ依リ請求セルモ未夕補  
 補充ノ狀況

別紙第一

補充員一覽表

備考	部	隊	將校	下士官	兵	合計
輸送途中入院患者十二名アリ	近衛歩兵第一聯隊	歩兵少尉	七	歩兵	三七〇	三五四
	近衛歩兵第二聯隊	歩兵少尉	五	歩兵	三〇〇	三五三
	近衛騎兵中隊			騎兵	二〇	二二
	近衛野砲兵大隊			野砲兵	三〇	三二
	近衛工兵中隊			工兵	二〇	二二
	近衛混成旅團通信隊			歩兵	二〇	一一
	近衛混成旅團衛生隊			歩兵	二〇	二五
	近衛混成旅團輜重隊			騎兵 輜重馬	三一	四〇
	計			一二	一〇七	八五九

別紙第二

補充請求人員一覽表

部 隊	將 校	下士官	兵	合 計
近衛混成旅團司令部			輜重兵 四三	七
近衛歩兵第一聯隊	歩兵中少尉 三五 軍醫中少尉 三		衛生兵 三	一一
近衛野砲兵大隊	砲兵大尉 一			一
近衛工兵中隊			衛生兵 一	一
近衛混成旅團衛生隊			輜重兵 一七 衛生兵 一八	四〇
近衛混成旅團野戰病院		療工 一	輜重兵 三	四
計	九	一	五四	六四

2176

2. 馬匹

混成旅團ニ於ケル現在馬數ハ別表第一如クニシテ  
定數ヨリ一〇三頭過剩ナルモ現在病馬七七頭ヲ  
控除セハ現在使用ニ得ルモノ三〇八九頭ニシテ加フルニ  
資格榮養共ニ編成當時ニ比シ低下シアルヲ以テ極  
力之カ改善ヲ向上ニ努メ次期作戰ニ支障ナカラシムル  
如ク準備中ナリ

病馬ノ累計ハ三九八七頭ニシテ内重症馬九四五頭ハ  
廣東・欽縣西兵站病馬廠及旅團病馬廠ニ入廠

セシテ其ノ約五。%ハ快復シ現在入廠馬ハ欽縣兵站  
病馬廠一二四頭祿團病馬廠ニ五三頭計三六七頭ナリ  
輕症馬ハ各部隊ニ於テ處置シ早期収療ヲ徹底  
スル為江南作戰直後ニモ拘ハラヌ混成祿團現在  
病馬數ハ別項ハ如キ狀況ニ在リ  
尚損耗馬ハ累計一三〇頭ナリモ其ノ都度押収馬  
補充馬ヲ以テ之ハ是セリ

馬匹一覽表

考	備	合計	病馬廠	四野病	一野病	衛生隊	通信隊	近輜隊	近工中	近砲大	近騎中	近歩二	近歩一	旅司	部 隊 分	
															乘	定
	一(ハ)ハ支那馬ヲ示ス	五四一	四〇	九	九	一八	七	五七	八	二九	三四	六一	六一	二八	乘	定
	二入廠馬モ算入シアリ	三三三	一一	七四	七〇	七八	二八	三三	二九	五三九	三三	四九一	四九一	二六	輓	數
		二七六	五二	八三	七九	九六	三五	四〇九	三七	五六八	三六	一五二	一五二	五四	計	
		二〇								二	一三	二	一	二	乘	第四次補充馬
		(一〇〇)	一	(四〇)	(三八)	(二五)	三	(五〇)		(五一)		(四〇)	(二五)	四	輓	
		(三三九)	一	(四〇)	(三八)	(二五)	三	(五〇)		(五一)	一三	(四〇)	(二六)	六	計	
		五三六	四〇	三	九	七	七	三	二	三	二四	五五	五五	三〇	乘	補充後於今現在馬
		(七〇三)	一一	(二〇)	(五〇)	(四三)	(九)	(七九)	(二〇)	(八四)	三二	(三九)	(三七)	二六	輓	
		(七〇三)	五二	(六三)	(五〇)	(四九)	(九)	(七七)	(二一)	(八五)	二四	(三八)	(四二)	五六	計	
		一〇三		三	六	九	三	三	五	四		一	二	二	対	定數

二  
兵  
器  
一  
覽  
表

2180



九式重機銃					九式重機銃	九六式輕機銃	二十六年式拳銃	三八式騎銃	三八式歩兵銃	三十年式銃劍	三十二年式軍力	品目	區分
乙彈藥箱	甲彈藥箱	乙器具箱	甲器具箱	高射用具									
組	組	組	組	組								單位	
二	一六八	一	一二	五〇	五〇	一五〇	八五七	七三一	四五四七	一〇四七六	四七六	定數	
						九	一	三	八八	三八	三	損毀	
	三二						六	五	一四七	一九三	二〇	亡失	
				一			一〇				三	他隊送達	耗
									五〇五	五二〇		補給	
二	一三六	一	一二	四九	五〇	一五〇	八四一	七三五	四九一五	一〇八〇三	四五三	現存數	
	(三三)			(二)			(一六)	四	三五八	三二七	(二三)	過(足)	
											送達	摘要	

2181

九三式車糧觀側鏡	九三式双眼鏡	八九式双眼鏡	砲山式一四			同		九四式三七粒砲	同		九二式歩兵砲	八九式重擲彈筒	十年式擲彈筒
			榴彈之藥箱	器具箱組	砲車	予備品車	彈藥車		彈藥箱	彈藥車			
三六	二六二	二四	九六	八	一一	二	一六	八	一八〇	一一	一二	一五〇	八
一	一							一					
一	一五								六九				
	一								一一				
三五	二四六	二四	九六	八	一一	二	一六	八	一〇〇	一一	一二	一五〇	八
(一)	(一六)								(八〇)				

2182

砲山式一四		銃機式八三		三十	將	具	職	小	九	九	九	
架用	架用	身用	架用									年式乘馬具
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
八		八	五六	五二〇	一五一	二	一九	三二	五三二	一三八	一〇	一〇
			一	一							一	三
三		七	一二	二六	六		二	四	五二	四	一	
	(四)								二二〇			
三一	一三	二一	四四	四九四	一四五	二	一七	二八	二六〇	一三四	九	一〇
(三)	(四)	(七)	(一二)	(二六)	(六)		(三)	(四)	(三七)	(四)	(一)	
一六八增加裝備分	增加裝備分	二〇組增加裝備トス										

2182  
2183

八 九 式 重 擲 彈 筒 具	機 輕 式 馬 銃 銃		土 手 式 機 銃 彈 藥 箱	砲 具 七 十 三 式					砲 具 步 式 二 九 五 十				九 三 式 步 砲 機 具	同 彈 藥 箱 用 組	
	彈 藥 箱 用	銃 用		彈 藥 箱 用	搖 架 及 重 輪 用	脚 及 容 具 箱 用	砲 架 用	砲 身 用	彈 藥 箱 用	搖 架 用	砲 架 用	砲 身 用			
六	六	六	四 二		四	八	八	八					三 六		
					五	六	五	六	五	四	二	一	三	一 六	二
六	六	六	四 二	七	八	一 一	一 〇	一 一	一 四	一 〇	一 一	九	二 〇	一 八	
				(五)	(六)	(五)	(六)	(五)	(四)	(三)	(二)	(三)	(二 六)	(三)	
				一 二 組 增 加 裝 備	〃	〃	〃	八 組 增 加 裝 備 〃 分	〃	〃	〃	增 加 裝 備 〃 分		增 加 裝 備 〃 分	

2184

備 装 加 増						兵 砲 具 馬 銃		修 正 式 砲	小 銃 種 類	六 砲	八 野 砲	三 改 砲		
拳 銃	重 機 関 銃	七 九 銃 小 銃	八 二 銃 迫 撃 砲	軽 機 関 銃	三 八 式 歩 兵 銃	後 馬 用	前 (中) 馬 用	砲 兵 輕 觀 測 車	予 備 品 車	彈 藥 車	砲 車	予 備 品 車	彈 藥 車	砲 車
							組							
一 三	一 〇			三 六	一 〇 〇	五 九	一 二 五	四	一	一 八	四	三	一 九	八
												一		
	一			二										
五	三		二	一 〇										
一 八	一 二	二 三 〇	二	四 四	二 〇 〇	五 九	一 二 五	四	一	一 八	四	三	一 九	八
	(一)			(三)										
ス ー マ ル 大 砲	九 六 ホ ッ キ ス 三 三 キ レ ム			三 三 ハ ケ エ ツ コ 二 ロ ハ ブ ロ 一 ミ ン グ										

8183

2184-2

河

代用駄鞍

ノ  
八  
七

五  
九  
八

ノ  
八  
七

2185

品	目	區	分	位	單	定	數	損		耗	補	給	現	在	數	適	意	摘	要	
								欠	損											
乘用自動車							四						四					(二)	庫品検査中	
自動貨車							九						九					(二)	庫品検査中	
洒水车							二						二					(三)	數損(庫品検査中)	
小型四輪起動自動車							二						一					(三)	數損(庫品検査中)	
軽修理自動車							二						二					(二)		
九式 自動車携行具							一						一					(一)		
本隊用 自動車工具							三						三					(三)		
九式 騎重車甲							一						一					(一)		
三式 騎重車							一						一					(一)		
十五 年式 馱馬具							二						二					(二)		
輪 一般用 甲							九						九					(九)		
重 一般用 乙							九						九					(九)		

2184  
2186

携 帶 燈	聯 重 携 行 器 具 甲	馬 具		繫 馬 索		馬 具		式 年 五 十 用	
		兩 頭 鉗	繫 馬 索	繫 馬 抗	衛 生 材 料 用	載 箱 用 甲	懸 箱 用 乙	懸 箱 用 甲	
	組								
二五九	二五	五七	二二五	二二七	一八	二	二	二	
			八						
三		四	三五	四八	五			二	
二五八	二五	五三	一九〇	三二	一三	二	二	一	
(三)		(四)	(三五)	(四)	(五)			(三)	

2187











三、彈藥保有量

2192

式一四		式四九 砲 銃		式九三 米多砲	式九三 浅火手榴彈	式八九 重榴彈筒	式二九 銃 榴	式九三 普通實包	式二九 實包	式三六 銃 實包	式三六 銃 實包	區 分 位 置
尖銳彈甲	榴彈	徹甲彈	榴彈	榴彈	榴彈	榴彈	徹甲實包	普通實包	實包	實包	實包	
												定數
	二七四八	一〇〇〇	四八〇	二八〇四	九八三三	九四四四	五五三〇	四〇三六八	二二九八			數損
												七失
												射耗
	五九〇	八九	四八二	六四一	一三四九	一七八七	四三〇	九三五四	三三九八	三三〇七	三三四七	給補
			三三八	三〇〇	三〇〇	一〇三〇		三三三〇	四〇〇	八七三九	八七三九	數在現
二八〇	四二〇	七三三	一八三	九八	五八〇	三九七	五〇一〇	二九三六	一五三九	四〇三七	四〇三七	(足不)遊
	(三三八)	(三三八)	(一九)	(一九)	(四〇三)	(三九七)	(四三〇)	(八四四)	(一五三九)	(四三六)	(四三六)	摘要
												摘要

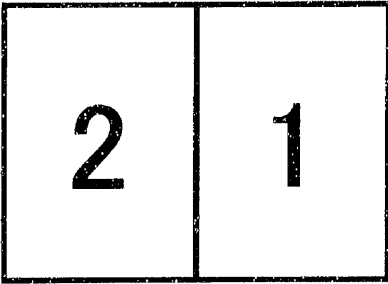
			同拳銃突包	押収小銃突包	爆発銃	小枝薬	円形黄色薬	方形黄色薬	九一式 十種榴弾	式改砲 尖銳弾	八野榴弾	山砲榴弾
			五五五	七五二九〇	二二二		一八	一尺	八四	一九二	一九二	九九八
			一三〇	八九八					三〇	三	二二三	一六五
									四〇〇		三〇	九〇
			四八四	四八九二一	二四	三	五八	三〇二	二七三	一九二	八五	三三
			(七二)	(六三九)	二		(七〇)	一九四	(五三)		(一七)	(二五)

四  
被服保有量及其他軍需用品

2195



## 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A3版以上のため
文書等名	被服保有量及程度調
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

被服保有量及程度調

品目	單位	所持定数	実員	所持現持数	差引	現持補数	程度
品	個	2,372	2,372	2,372	0	2,372	100%
鉄	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
防暑帽	個	1,132	1,132	1,132	0	1,132	100%
外	組	1,000	1,000	1,000	0	1,000	100%
軍衣袴組	組	1,100	1,100	1,100	0	1,100	100%
代用冬衣袴	組	1,100	1,100	1,100	0	1,100	100%
冬濡袴袴下	組	1,100	1,100	1,100	0	1,100	100%
夏衣袴	組	1,100	1,100	1,100	0	1,100	100%
防暑衣袴	組	1,100	1,100	1,100	0	1,100	100%
試製防暑衣袴	組	1,100	1,100	1,100	0	1,100	100%
夏濡袴下	組	1,100	1,100	1,100	0	1,100	100%
雨外套	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
縮上靴(有鉄)	組	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
縮上靴(無鉄)	組	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
長靴	組	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
防毒面(甲)	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
巻脚絆組	組	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
背囊	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
雜囊	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
水筒	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
飯盒	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
携帶天幕(式)	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
背負袋	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
防蚊覆面	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
防蚊手袋組	組	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
飯骨柳	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
菜骨柳	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
菜骨柳網	個	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
拍車組	組	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
毛布	枚	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%
蚊帳	人分	1,098	1,098	1,098	0	1,098	100%

備考

- 一 所持定数ハ定員ニ定数ヲ乗シタルモノトス
- 二 本表ニハ配屬部隊ノモノヲ含ミアラス
- 三 本表( )ヲ附シタルハ其ノ大部分ヲ蚊虫ハ残置シタルモノトス
- 四 所要数中ニハ管外者及臨時雇員通訳等ノ所要ノ外若干ノ予備ヲ含ミアス



物品現況調査表

品目	備付希望数	現在数	不足数	摘
自轉車	八三	八三		現品ハ蚊虫山ニ在リ
リヤカー	一四〇	一四〇		
膳寫器	三二	三二		
全鏟	三二	三二		
野戰縫工具	一九	一九		内一四組ハ蚊虫山ニ残置アリ
野戰靴工具	一九	一九		
鎌	一五〇	八〇	七〇	干草製作ノ爲備付希望
採薪用鋸	一五〇	二〇	一三〇	
斧	一五〇	一〇	一四〇	木炭製造用トス中隊 約三ヶ所配當
鉋	一五〇	一〇	一四〇	

2198

五、糧秣保有量

補給ノ状態ニ就イテ

三月末ノ降雨ノ爲糧秣品ノ集積量ハ減少シ尙  
今圃ノ欽寧道補修ニ伴フ自動貨車ノ配屬ノ關係  
ニ依リ漸ク毎日費消用主食馬糧ヲ運搬シ得ル  
ニ過ギズシテ予備糧秣諸品ノ集積ノ如キ為ニ得  
サル現況ニ在リ

欽寧道補修ノ完成ト配屬自動車ノ復歸トヲ  
待テ之等軍需諸品ノ補給ノ円滑ヲ圖ラントス

糧秣諸品保有量次表如シ

2200

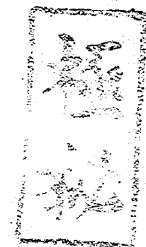
一野戰倉庫糧秣保有量一覽表

品目	單位	一摺內容	所有摺數	總量	給養人數	給養日數	摘要
精米	捆	三九六〇	八八一	三三八七六〇	五二八六〇人	四十一日	一人量一三〇〇 五〇〇
精麥	〃	三七八〇	九四四	三五八三三〇〇	一六九九三〇人	十四日	
現地米	〃	二五〇〇	七七	一九二五〇〇〇			二聯中力、關係上等 糧秣ノ集積困難ノ 状態ニ在リ
乾パン	〃	一五八一〇	四二四	六四三六三二〇	九三二八八人	一百一十二日	
庄口糧	〃	一五八一〇	二五〇	三七九三六〇〇	五五〇〇人	一百一十二日	
漬物	〃	一三、〇〇〇	四一	五三三、〇〇〇	四、〇〇〇人	三月十日	
カレー粉	〃	一六、〇〇〇	四四	一〇三四、〇〇〇	五、〇〇〇人	四日	
生正油	〃	一五、五〇〇	一一五	一七八、五〇〇	二二、五〇〇人	二日	
粉正油	〃	一五、〇〇〇	一〇八	一六二、〇〇〇	一八、〇〇〇人	九日	
ソース	〃	九、八〇〇	四三九	四〇三、〇〇〇	一四、三九七人	十二日	
煎子	〃	一五、〇〇〇	七六	二四〇、〇〇〇	七、五〇〇人	八日	
砂糖	冠		九八九	九八八、〇〇〇	四九、四五〇人	四日	
榮養缶	捆	一三、〇〇〇	四七	五〇四、〇〇〇	三、七六〇人	一日	
干イワシ	〃	一三、八〇〇	一〇	一三八、〇〇〇	七、六六六人	二日	
ソーメン	〃	二八、〇〇〇	六七	一、九〇六、〇〇〇	三、七六六人	四日	
緑豆	〃	八、〇〇〇	三三	二五六、〇〇〇			七ヤシ用
酥	〃	九、六〇〇	三九	二三八、五六〇	九、六〇〇人	八日	
食塩	〃	二一、〇〇〇	五	一〇五、〇〇〇	二一、〇〇〇人	二日	
小麥粉	〃	四、八〇〇	二〇八	九一〇、四〇〇	四、五五〇人	四日	
煙草	本	二〇、〇〇〇	三九六	三九六、〇〇〇	四、九六六人	三八日	
ミカン缶詰	捆	一四、三八〇	二七	三八五、五八〇	一、五九二人		
和梨缶	〃	一四、一六〇	一一〇	六九九、二〇〇	一、五二〇人	一日	
清酒	〃	三、一六〇	一一一	四五五、七六〇	一、一三九四		
大麥	〃	四〇、〇〇〇	五三八	一、五九〇、〇〇〇	八、九六六人	三日	
馬塩	〃	一九、〇〇〇	一五二	二、八八六、〇〇〇	四、八一三三	一六日	
燕麥	〃	四〇、〇〇〇	二二〇	九、二〇〇、〇〇〇	三、四九六	一日	
携燃	〃	一、八〇〇	一三三	一、四三三、六〇〇	一、七九五五		

区分	給養日數	摘要
主食	概二日分	
乾パン	約一食分	
副食物	ナシ	
調味品	二日分	生醬油、ソース等品種ナシ
馬糧	ナシ	

各部隊

摘要



混成旅團一日所要糧秣運搬具調

区分 品目	日量	給養人數	数量	一箱内容	箱数	一箱重量	總重量	一馬積載量	所要馬数	一車積載量	所要車輛数
精米	660 <sup>g</sup>	12,000	7920,000	39,600	200	46,000	9200,000	2	100	30 <sup>袋</sup>	7
精麦	210	12,000	2520,000	37,800	67	46,000	3082,000	2	34	30 <sup>袋</sup>	3
粉味噌	30	12,000	360,000	15,000	24	23,000	552,000	4	6	50 <sup>箱</sup>	1
粉豆油	15	12,000	180,000	15,000	12	23,000	276,000	4	3	50 <sup>箱</sup>	1
缶肉	150	12,000	1800,000	12,000	150	23,000	3450,000	4	30	50 <sup>箱</sup>	3
大麦	4800	3,000 <sup>馬</sup>	14400,000	40,000	360	46,000	16560,000	2	180	30 <sup>袋</sup>	12
計									361		27

註 混成旅團人員馬匹数、編成上、固有部隊、概数 = 314

2202



混成衣園一日所要(1)定量糧標運搬具調

2203

品目	単位	消費量	消費額	消費量	消費額	消費量	消費額	消費量	消費額	消費量	消費額	
△ 乾パン	690 <sup>匁</sup>	221 <sup>匁</sup>	22,500,000	15,120	546	23,000	12,558,000	2 <sup>種</sup>	273 <sup>匁</sup>	25 <sup>種</sup>	22	
△ 鶏卵食糧	10	150 <sup>匁</sup>	120,000	15,000	8	23,000	184,000	3	3	50	0.16	
△ 豚肉食糧	120	135	1440,000	10,800	14	2,000	322,000	3	5	50	0.28	
X 生肉	45	96	540,000	14,400	38	23,000	874,000	3	13	40	1	
○ 生肉魚肉	120	166	1440,000	20,000	72	23,000	1656,000	2	36	30	2.4	
X 生醤油	0.08 <sup>匁</sup>	200	960,000	15,5 <sup>匁</sup>	62	23,000	1426,000	2	31	50	1.24	
X 生味噌	75 <sup>匁</sup>	200	900,000	15,000	60	23,000	1260,000	2	30	50	1.2	
X 酢ナツズ	0.028 <sup>匁</sup>	110	336,000	9,18 <sup>匁</sup>	37	23,000	851,000	2	19	30	1.23	
X 味噌類	10 <sup>匁</sup>	133	216,000	16,000	12	23,000	322,000	3	5	25	0.56	
X 漬物類	135	216	162,000	13,000	13	23,000	299,000	2	7	40	0.32	
X 砂糖	20 <sup>匁</sup>	1050	240,000	21,000	12	23,000	276,000	3	4	20	0.6	
X 食塩	5	4500	60,000	21,000	3	23,000	69,000	3	1	50	0.6	
X 調味料類	15	266	180,000	16,000	12	23,000	276,000	3	4	50	0.24	
○ 茶	3	4,000	36,000	12,000	3	23,000	69,000	3	1	30	0.1	
○ 酒	0.01 <sup>匁</sup>	90	120,000	36,000	4	46,000	184,000	2	2	30	0.13	
○ 甘味品	150 <sup>匁</sup>	120	1440,000	14,500	100	23,000	2300,000	3	34	50	2	
○ 煙草	5 <sup>匁</sup>	1,000	600,000	20,000	3	34,000	102,000	2	2	20	0.15	
X 干草	1500 <sup>匁</sup>	10 <sup>匁</sup>	3600,000	40,000	90	40,000	3600,000	2	45	30	3	
X 馬糞	60	480	180,000	19,200	10	23,000	230,000	3	4	35	0.29	
○ ホー末	10	4,500	30,000	45,000	1	48,000	48,000	2	1	40	0.25	
X 木炭	600	25 <sup>匁</sup>	7200,000	15,000	480	17,000	2160,000	4	150	50	9.6	
注	X	常備品種(主食以外)							283		(1734)	20
	○	常備 = ナニ回数ノリナ品種							76		(4785)	5
記	△	作食用トニ = 準備糧標品種							281		(2244)	25
計									640 <sup>匁</sup>		(46,585)	48

備考 混成衣園ノ人員ニ 12000<sup>匁</sup> 高 3000<sup>匁</sup> トニ 計算ス

六輸送機関能力

混成旅團輜重隊編成(病馬廠ヲ除ク)  
の輓馬中隊

彈藥化学戰資材糧秣車 二八七

予備車輛 一〇

予備 一四

計 三一

行李車 三四

合計 四九

(四) 自動車中隊

四輪起動小型車

自動貨車

予備自動貨車

軽修理自動車

行李用自動貨車

合計

八三 六 一 七 六八 一

2. 混成旅團輜重隊現況

(1) 輜馬中隊

馱馬 = 改編マ

現在應役馱馬

一九二頭

(右中二頭は目下欽縣ヲ受領シ歸還中ナリ又輜重車ハ廣東ヨリ追送中ナリ)

(四) 自動車中隊

貨車六八輛ノ中

修理一故障三 (部分品入手見込ナシ)

中村兵團配屬三一 各隊配屬一七

指揮連絡用 二ヲ除キ

現在應役車

一四ナリ

2207

七宿營地設備ノ狀況

八宿營地附近

概シテ低地多キ爲雨期ニ於ケル泥濘化ヲ考

慮シ目下周圍ノ必要ナル道路ノ補修ヲ實

施セシメ着々整備中ナリ

家屋ニ浸水セザル様排水溝ヲ又直接警告

戒ノ爲宿舍周圍ニ障碍物ヲ構築中ニシテ

目下殆ト完成ノ域ニアリ

不必要ナル雜草ホヲ伐採シ不潔ナル池沼等

ヲ埋没シ周囲ノ清掃ニ努ムンアリ

## 又、宿舎

民家ハ部隊ノ收容ニ十分ナルモ採光換氣

等不良ナルヲ以テ逐次改築ヲ加ヒ床ヲ上ケテ

兵ノ休養患者ノ收容等ニ支障ナキヲ期シ

居レリ炊事場ハ共同炊事ヲ實施スルニ十分

ナル設備ヲ完了ス

便所塵捨物等ハ成ルハ炊事場ヨリ隔離スル

地臭ニ應用材料ヲ以テ畧完成セリ

事務設備ハ概ネ満足シ得ル程度ナルモ一部机  
椅子等ノ不足セルモノアリ

照明設備ハ電線ノ引込ミ線アル部落アルモ  
電球不足ノ爲亭子軒宿營部隊ノ部ヲ除  
ク外電燈ヲ利用シ得サル狀況ニアリ爾余ノ主  
カ部隊ハ燈油、ロソク等使用シアルモ時ニ之

3. 厩舎<sup>カ</sup>欠乏ヲ來タシ夜間ノ事務ニ支障ヲ生スルコトアリ

概ネ完成ス地域ヲ有スル部隊ニ在リテハ放牧場  
等ヲ設ケ馬匹ヲ之ニ開放シ自由ニ運動セシメ得ル



如ク設備セルモノアリ

々 給水

第二防疫給水部ノ半部及各自隊ノ濾水器  
ヲ使用シアルモ給水能力ノ不足ニシテ各部隊ニ対シ  
充分ニ給水シ得ル程度ニアラス

々 衛生設備

通路草叢竹藪等ヲ清掃シ塵捨場ノ設備  
排水溝ヲ完備シ水溜ヲ除去シテ蚊ノ発生ヲ防  
止シツアルモ未ダ完整ニ至ラス又馬糞・尿ノ處理ニ

努ムアルモ木々其ノ實施十分ナラスシテ蠅ノ發生甚  
タヨクシ

蚊帳、防蚊、覆面等ノ数少ク、防蚊設備未完  
成ノ狀況ナリ

入浴設備ハ主トシテドラム罐ニ依リ一部ハ木製浴  
槽ヲ設置シ概ネ隔日ニ入浴ヲ實行シアリ

雑用水ハ筈江式ハ細流ヨリ得マルモ雨期ノ涵濁  
ヲ考慮セバ將來各隊内ニニニヶ所ノ井戸ヲ鑿井  
スルノ要セアリ

八  
患  
者  
病  
馬  
一  
覽  
表

2213

總計	病												傷	部 傷	患者一覽表	
	小計	病名未定	花柳病	其他	骨折捻挫	挫傷	挫裂刺創	外被病	感冒性疾患	胃腸炎	脚氣	胸膜炎				肺炎
八	五	一		一					二	一				三	PTL	
二六五	六〇	一〇		七		四	二	四	七	二六	一			二五	IGI	
三〇三	八三	一〇		五	四	九	四	六	一	三三				三三	2GI	
五	二			一						一				三	GIK	
四八	三四	九		七			三	三	四	八				一四	GA	
三六	八	一		四					一	二				二八	GP	
七九	三八	八		六		七	四		三	一				四	GT	
四五	二二			一				五		六				三	δ	
五七	五二	一		五	三	三	二			七	二	二	二	五	IFL	
四二	三八	八		一	二	二			二	二	四	一		四	4FL	
八八八	三四二	六六	一	六	九	二	一	二	三	九	七	三	二	五	計	

2214

病馬一覽表

考 備	合 計	病馬廠	四野病	一野病	衛生隊	通信隊	近衛隊	近工中	近砲大	近騎中	近歩二	近歩一	旅 団	部 隊	
														日	交
一、本表中ニ入廠病馬ヲ算入シアリ ニ、療養見込馬ナシ	八八七	二一	六	一八	四	一八	六七	一五	九七	八三	一三九	二二七	六	日	恢復見込
	二〇	、	二	一	一	八	四	五	一〇	、	四六	三三	、	交	恢復見込
	七七七	二一	八	一七	五	二四	七一	二〇	一〇七	六三	一七五	二六〇	六	計	恢復見込
	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	日	療養見込
	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	交	療養見込
	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	計	療養見込
	七七七	二一	八	一七	五	二四	七一	二〇	一〇七	六三	一七五	二六〇	六	合計	療養見込
														摘要	

九 現地自治、現況及将来、企図

現地自治ハ農場、経営、市場、開設等依リ著ク資源ノ

培養助長ニ努メ其ノ成果ヲ擧ゲツ、アリ

之ガ實現施、状態並将来、企図凡ノ如シ

八 現地自治ノ現況

一 農園ニ於テハ野菜ノ栽培

洋期トシテノ約四町歩ノ畑ニ播種ス品種ハ白菜、大根、春

菊苣、ニラ等ニシテニ、三寸ニ生テ育シ各隊ニ卸、袖給ヲ開

始セリ

二 家畜、飼育

牛約四頭、水牛十頭、豚五頭、雞五十羽ナリ農園ニ繫畜

飼育シテリ其心各隊ニ於テハ飼育セリメアリ

ハ市場ノ開設

沙井堰ニ市場ヲ開設セリメアリ肉類、砂糖、葱ニテ  
等相當數概入セラレ之ニ出入ルル民ノ數モ三三百名ニ達ス  
附近前營部隊ニ利用セラレアリ

ニ甘味品ノ自製

野戰倉庫附履業務トシテ饅頭ヲ自製、酒保品トシテ  
販賣スリ材料、關係上高規模トナリ

ホ豆モヤシノ自製

生野菜ノ不足ヲ補フタ各部隊又ハ農場ニ於テ一括自製  
スリ

ハ木炭ノ試製

三月中旬ヨリ試製ニ充テ和集團ノ指示ニ基キ更ニ配當  
數量ヲ自製スルノ計画シ着々實行中ナリ

ト千草ノ自製和菓園ノ指示ニ基リ数量ヲ自製ス  
計画準備中ナリ

2 将来ノ企図

前項現在實施中ノモノヲ更ニ一層擴大強化ス

口土民ノ歸農奨励

速カニ土民ヲ歸農セシメ野菜ノ栽培ヲ行ハシムベク努  
力スルリ

公宿營地ノ野菜栽培

野菜ノ種子ヲ部隊ニ交付シ宿營地附近ニ於テ播種シ  
部隊ノ給養ニ利用セシメ趣味ト實利ヲ收ルル如ク指  
導スアリ

ニ清涼飲料水ノ自製



成止可ク速ニ製造機械其他材料ノ入手ニ努ム

ホウトクノ自製

或者ノ速ニ製造機械材料ノ入手ニ努ム

ハ河魚ノ獲得

網ヲ調達シ大々的ニ實施シ其負ノ紛養ニ充ツ

ト蘇墟附近ニ市場ヲ開設ス

百兩期及夏季ノ對策、實行及將來ノ企圖

銳意努力中ニ著ク進捗ノ中ニ七千石淨糧秣品ノ集積

ハ輸送力ノ不足、タメ意ノ如クナラザル現況ナリ

雨期及夏季ノ對策ハ別表ノ如シ

夏期及雨期ニ對スル對策

方針	區分	項目	備考
經理施設ヲ完備スルト共ニ準備品ノ集積管理ノ整到給養補給ノ通融各種病象ヲ克服スルヲ以テ戰力ノ維持増進ニ資スルニ在リ	對策又ハ實地要領	<p>一、米 三十日分</p> <p>二、小麦 三十日分</p> <p>三、乾豆 七十日分</p> <p>四、大豆 七十日分</p> <p>五、調味品 三十日分</p> <p>六、粉味噌 三十日分</p> <p>七、攜帶燃料 七十日分</p> <p>八、加給品 七十日分</p> <p>九、野菜類 二十日分</p>	<p>一、本村農八賣完産容積ナルモノヨリ直ニ着手シ其ノ結果ヲ明瞭ナラシメ置クモノトス</p> <p>二、本村策中單ニ要求スル事項並ニ隣接兵團ニ關係アルモノハ夫ニ連絡ヲ密ナラシムモノトス</p>
予備糧秣集積	各部隊	<p>一、米 六、六、調味品、粉味噌、七百—八百日分</p> <p>二、攜帶糧秣(尋常五携ニシテ) 七百日分</p> <p>三、攜帶燃料 二百日分</p> <p>四、加給品 七十日分</p> <p>五、野菜類 二十日分</p>	
夏期用被服ノ整備	各部隊	<p>一、夏期用被服ノ整備</p> <p>二、冬期用被服ノ整備</p> <p>三、被服補修材料類</p> <p>四、格納場所ノ選定</p> <p>五、格納場所ノ掃除</p> <p>六、格納場所ノ防鼠</p> <p>七、格納場所ノ防蟻</p> <p>八、格納場所ノ防虫</p> <p>九、格納場所ノ防霉</p> <p>十、格納場所ノ防臭</p> <p>十一、格納場所ノ防汚</p> <p>十二、格納場所ノ防損</p> <p>十三、格納場所ノ防盜</p> <p>十四、格納場所ノ防火</p> <p>十五、格納場所ノ防電</p> <p>十六、格納場所ノ防磁</p> <p>十七、格納場所ノ防核</p> <p>十八、格納場所ノ防放射線</p> <p>十九、格納場所ノ防宇宙線</p> <p>二十、格納場所ノ防重力</p> <p>二十一、格納場所ノ防浮力</p> <p>二十二、格納場所ノ防真空</p> <p>二十三、格納場所ノ防高壓</p> <p>二十四、格納場所ノ防低壓</p> <p>二十五、格納場所ノ防急凍</p> <p>二十六、格納場所ノ防急熱</p> <p>二十七、格納場所ノ防急震</p> <p>二十八、格納場所ノ防急旋</p> <p>二十九、格納場所ノ防急變</p> <p>三十、格納場所ノ防急停</p> <p>三十一、格納場所ノ防急降</p> <p>三十二、格納場所ノ防急昇</p> <p>三十三、格納場所ノ防急流</p> <p>三十四、格納場所ノ防急渦</p> <p>三十五、格納場所ノ防急旋</p> <p>三十六、格納場所ノ防急變</p> <p>三十七、格納場所ノ防急停</p> <p>三十八、格納場所ノ防急降</p> <p>三十九、格納場所ノ防急昇</p> <p>四十、格納場所ノ防急流</p> <p>四十一、格納場所ノ防急渦</p> <p>四十二、格納場所ノ防急旋</p> <p>四十三、格納場所ノ防急變</p> <p>四十四、格納場所ノ防急停</p> <p>四十五、格納場所ノ防急降</p> <p>四十六、格納場所ノ防急昇</p> <p>四十七、格納場所ノ防急流</p> <p>四十八、格納場所ノ防急渦</p> <p>四十九、格納場所ノ防急旋</p> <p>五十、格納場所ノ防急變</p>	
被服	各部隊	<p>一、夏期用被服ノ整備</p> <p>二、冬期用被服ノ整備</p> <p>三、被服補修材料類</p> <p>四、格納場所ノ選定</p> <p>五、格納場所ノ掃除</p> <p>六、格納場所ノ防鼠</p> <p>七、格納場所ノ防蟻</p> <p>八、格納場所ノ防虫</p> <p>九、格納場所ノ防霉</p> <p>十、格納場所ノ防臭</p> <p>十一、格納場所ノ防汚</p> <p>十二、格納場所ノ防損</p> <p>十三、格納場所ノ防盜</p> <p>十四、格納場所ノ防火</p> <p>十五、格納場所ノ防電</p> <p>十六、格納場所ノ防磁</p> <p>十七、格納場所ノ防核</p> <p>十八、格納場所ノ防放射線</p> <p>十九、格納場所ノ防宇宙線</p> <p>二十、格納場所ノ防重力</p> <p>二十一、格納場所ノ防浮力</p> <p>二十二、格納場所ノ防真空</p> <p>二十三、格納場所ノ防高壓</p> <p>二十四、格納場所ノ防低壓</p> <p>二十五、格納場所ノ防急凍</p> <p>二十六、格納場所ノ防急熱</p> <p>二十七、格納場所ノ防急震</p> <p>二十八、格納場所ノ防急旋</p> <p>二十九、格納場所ノ防急變</p> <p>三十、格納場所ノ防急停</p> <p>三十一、格納場所ノ防急降</p> <p>三十二、格納場所ノ防急昇</p> <p>三十三、格納場所ノ防急流</p> <p>三十四、格納場所ノ防急渦</p> <p>三十五、格納場所ノ防急旋</p> <p>三十六、格納場所ノ防急變</p> <p>三十七、格納場所ノ防急停</p> <p>三十八、格納場所ノ防急降</p> <p>三十九、格納場所ノ防急昇</p> <p>四十、格納場所ノ防急流</p> <p>四十一、格納場所ノ防急渦</p> <p>四十二、格納場所ノ防急旋</p> <p>四十三、格納場所ノ防急變</p> <p>四十四、格納場所ノ防急停</p> <p>四十五、格納場所ノ防急降</p> <p>四十六、格納場所ノ防急昇</p> <p>四十七、格納場所ノ防急流</p> <p>四十八、格納場所ノ防急渦</p> <p>四十九、格納場所ノ防急旋</p> <p>五十、格納場所ノ防急變</p>	
物	各部隊	<p>一、防疫材料ノ集積</p> <p>二、照明用材料ノ整備</p> <p>三、構築材料ノ集積</p> <p>四、各種防疫材料ノ取集</p> <p>五、各種防疫材料ノ保管</p> <p>六、各種防疫材料ノ運送</p> <p>七、各種防疫材料ノ配布</p> <p>八、各種防疫材料ノ使用</p> <p>九、各種防疫材料ノ廃棄</p> <p>十、各種防疫材料ノ回収</p> <p>十一、各種防疫材料ノ再処理</p> <p>十二、各種防疫材料ノ再利用</p> <p>十三、各種防疫材料ノ再販</p> <p>十四、各種防疫材料ノ再購</p> <p>十五、各種防疫材料ノ再製</p> <p>十六、各種防疫材料ノ再修</p> <p>十七、各種防疫材料ノ再補</p> <p>十八、各種防疫材料ノ再換</p> <p>十九、各種防疫材料ノ再洗</p> <p>二十、各種防疫材料ノ再乾</p> <p>二十一、各種防疫材料ノ再貯</p> <p>二十二、各種防疫材料ノ再運</p> <p>二十三、各種防疫材料ノ再配</p> <p>二十四、各種防疫材料ノ再使</p> <p>二十五、各種防疫材料ノ再廃</p> <p>二十六、各種防疫材料ノ再回</p> <p>二十七、各種防疫材料ノ再再</p> <p>二十八、各種防疫材料ノ再再</p> <p>二十九、各種防疫材料ノ再再</p> <p>三十、各種防疫材料ノ再再</p>	
營繕	各部隊	<p>一、雨漏ノ補修</p> <p>二、道路ノ補修</p> <p>三、排水溝ノ修築</p> <p>四、農圃ノ修繕</p> <p>五、倉庫ノ修繕</p> <p>六、塹壕ノ修繕</p> <p>七、壕溝ノ修繕</p> <p>八、溝渠ノ修繕</p> <p>九、堤防ノ修繕</p> <p>十、橋樑ノ修繕</p> <p>十一、柵欄ノ修繕</p> <p>十二、圍籬ノ修繕</p> <p>十三、垣牆ノ修繕</p> <p>十四、土圍ノ修繕</p> <p>十五、土溝ノ修繕</p> <p>十六、土坎ノ修繕</p> <p>十七、土堤ノ修繕</p> <p>十八、土壩ノ修繕</p> <p>十九、土橋ノ修繕</p> <p>二十、土路ノ修繕</p> <p>二十一、土階ノ修繕</p> <p>二十二、土梯ノ修繕</p> <p>二十三、土臺ノ修繕</p> <p>二十四、土基ノ修繕</p> <p>二十五、土柱ノ修繕</p> <p>二十六、土梁ノ修繕</p> <p>二十七、土椽ノ修繕</p> <p>二十八、土瓦ノ修繕</p> <p>二十九、土磚ノ修繕</p> <p>三十、土石ノ修繕</p>	
其他	各部隊	<p>一、農圃ノ修繕</p> <p>二、倉庫ノ修繕</p> <p>三、塹壕ノ修繕</p> <p>四、壕溝ノ修繕</p> <p>五、溝渠ノ修繕</p> <p>六、堤防ノ修繕</p> <p>七、橋樑ノ修繕</p> <p>八、柵欄ノ修繕</p> <p>九、圍籬ノ修繕</p> <p>十、垣牆ノ修繕</p> <p>十一、土圍ノ修繕</p> <p>十二、土溝ノ修繕</p> <p>十三、土坎ノ修繕</p> <p>十四、土堤ノ修繕</p> <p>十五、土壩ノ修繕</p> <p>十六、土橋ノ修繕</p> <p>十七、土路ノ修繕</p> <p>十八、土階ノ修繕</p> <p>十九、土梯ノ修繕</p> <p>二十、土臺ノ修繕</p> <p>二十一、土基ノ修繕</p> <p>二十二、土柱ノ修繕</p> <p>二十三、土梁ノ修繕</p> <p>二十四、土椽ノ修繕</p> <p>二十五、土瓦ノ修繕</p> <p>二十六、土磚ノ修繕</p> <p>二十七、土石ノ修繕</p> <p>二十八、土砂ノ修繕</p> <p>二十九、土泥ノ修繕</p> <p>三十、土灰ノ修繕</p>	

二、希望事項

一、兵團ノ常時使用ニ得ル輸送機関ノ数ノ増加セウレ度  
理由

現在自動貨車一〇輛ヲ軍へ二〇輛ヲ欽寧丁道路補  
修ハテ七輛ヲ各隊ニ分属シアリテ兵團自体カ大厩墟  
補給点ヨリノ補給ノ為メ毎實際ニ連行ニ得ル數ハ  
概ネ二〇輛以内ニテ立テテ日々費用主食、大  
麦等ヲ運搬ニ得ル現況ニテ予備糧秣ノ集積  
ハモトヨリ副食、加給品、日用品等ノ運搬ヲ爲シ得

2221

ナル状態ナリ

2. 軍ニ於テ南寧ノ附近ニ雜貨商ヲ設置シ各部隊ノ日用加雜貨等ヲ現地物資ニヨリ充足シ得ル如ク計畫セウシ度

3. 蘇墟 那馬墟、那連、サ蒲津等ニ配置セル搜索據点ニ通スル道路ノ補修及有線通信網ノ架設ヲ軍ニ於テ可及的速ニ實施セウシ度

4. 乗用自動車サクモ三輛ヲ配備セウシ度

理由 兵團ノ乗用車ハ三輛ノミテ中一輛ハ故障シ他

2222

モ能力不足セル車体ナリ  
爲ニ軍等ニ對スル連絡モ時期ヲ失ハル場アリ  
ヲ生スル事アルヲ以テナリ

2223

二  
三  
相互連絡事項

2224

欽縣補給廠、糧秣被服其他軍需  
諸品、受拂現在高旬報ヲ當團兵團  
之モ送付セラレ度

理由

補給、円滑ヲ期スル  
タメ

2225

2

他兵團ニテ開始セル市場ヲモ  
利用シ得ル如ク軍ニ於テ統制  
指導アリ度

理由

地域ニヨル特産物ノ有無  
相通ゼシムルヲメ

2226